

ご使用前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧下さい。

W-600 取扱説明書

- ### 製品仕様
- 時間精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）
（電波時計による時刻修正を行わない場合）
 - 表示精度：±1秒以内（電波受信による時刻修正の直後）
 - 表示温度範囲：-9.9℃～59℃
 - 表示湿度範囲：20%～99%
 - 温度精度：±1℃（0～40℃の範囲内）
 - 湿度精度：±5%（常温時、40～70%の範囲内）
 - 使用温度範囲：0℃～40℃
 - 使用電池：単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V)2個
 - ※充電電池・オキシライド乾電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
 - 電池寿命：約12ヶ月
 - ※付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池です。で製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。（モニター用電池とは、時計の機能や性能をチェックするための電池のことです。そのため付属の電池は保証の対象外です。）
 - 受信電波：標準電波JJY、周波数：40kHz/60kHz(自動選局)
 - 自動受信回数：最多4回/1日
 - カレンダー：2010年1月1日～2099年12月31日(フルオート)
 - 六曜表示：2010年～2050年(2051年から表示しません)
 - 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して表示が見えにくくなる場合があります。0～40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。●本取扱説明の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対してなんら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証書 GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。

品番	W-600
保証期間	お買上げ日より1年間
お買上げ店	この保証書は、複製のため、ご利用できません。
販売店	

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。本保証書は日本国内のみ有効です。
(This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 ノア精密株式会社

本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 コーハイツ伸光3階

W600-1310

注意と警告 安全にご使用いただくために

下記の注意事項を必ず守って下さい。

使用上の注意

禁止 ●分解・改造をしないで下さい。

注意 警告 ●強いショックを与えないで下さい。

●次のような場所での使用、保管はしないで下さい。●温度が0℃以下、または+40℃以上になる場所●浴室など、湿気の高い場所●直射日光などの強い紫外線が当たる場所●強い磁気のある場所●振動の激しい場所●工場、台所など、油分の多く発生する場所●温泉場など、ガスの発生する場所

電池について

禁止 ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。

●付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。●＋と－を逆に入れないで下さい。●電池に直接ハンダ付けしないで下さい。

注意 警告 ●寿命の切れた電池はすぐに電池ホルダからはずして下さい。

●長期間機器を使用しない場合は機器から電池をはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合はケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は医師に相談して下さい。●電池ホルダが機能別に分かれていて2個以上の電池を使用する場合は、違う種類の電池(アルカリとマンガン等)や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで下さい。電池を廃棄、または保存する場合はテープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触する場合は発火・破裂の恐れがあります。

保証・アフターサービスについて

- 電池は保証の対象外です。保証期間内でも有料となります。
- 保証の内容については左記保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
 - ◆本保証書の提示がない場合
 - ◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
 - ◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
 - ◆改造または分解により生じた故障・損傷
 - ◆火災や天災地変による故障・損傷
 - ◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷
- 保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客様がお買上げ店にお持ちいただけます。修理を依頼される場合はお買上げ店にご持参下さい。
- 修理品をお持ち込み・ご送付される場合の運賃、掛掛り費用はお客様に自己負担願います。
- 修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。
- ご贈答・転居などにより、お買上げ店での保証が受けられない場合は、下記のノア精密 サービスセンターまでご相談下さい。

ノア精密株式会社 サービスセンター

〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL:048-933-4080

http://www.mag-clock.co.jp

受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
午前10:00～午後12:00、午後1:00～午後5:00
※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承下さい。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。電波を受信できない場合は、内蔵クォーツ精度で計時をします。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構(NICT)によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停止(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。

通信研究機構 ホームページアドレス <http://jijy.nict.go.jp>

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶表示が黒くなり、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示面には触れないで下さい。表示が見えにくくなる場合があります。しばらくすると、元に戻ります。

温度・湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度・湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間が掛かる場合があります。
- 他の製品、湿度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、ご注意ください。

お手入れについて

- プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラぶきして下さい。木枠金属枠の場合は柔らかい布でカラぶきして下さい。
- ペンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。日本の標準電波送信所から1,000km以上離れた場所でも、ご使用になる場所の条件により、日本の標準電波を受信して、日本時刻を表示する場合があります。

使用場所について

- 電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。
- ◆鉄筋、鉄骨の建物の中や地下（ただし、窓際は比較的信受しやすくなります）
 - ◆山、ビルなどの電波をさえぎるものの近く
 - ◆高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - ◆自動車、電車、飛行機などの中（特に移動中は電波障害が起きやすくなります）
 - ◆空港、交通量の多い道路の近く工事現場など電波障害の起きる場所
 - ◆テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明
 - ◆金属面(床や壁)に接して設置した場合

※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

電池交換時期とリセット操作について

- #### 電池交換時期
- 電池容量が不足してくると、液晶表示が薄くなったり、アラーム音が小さくなったり、歪んだりします。このような場合は、速やかに新しい乾電池に2個同時に交換して下さい。
- #### リセット操作
- 電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れなおした場合は、必ずリセットボタンを押して下さい。※リセットボタンはクリップなどを伸ばした先などで押して下さい。針などの先端の鋭利なものを使用すると、内部ボタンが破損しますのでご注意ください。

その他

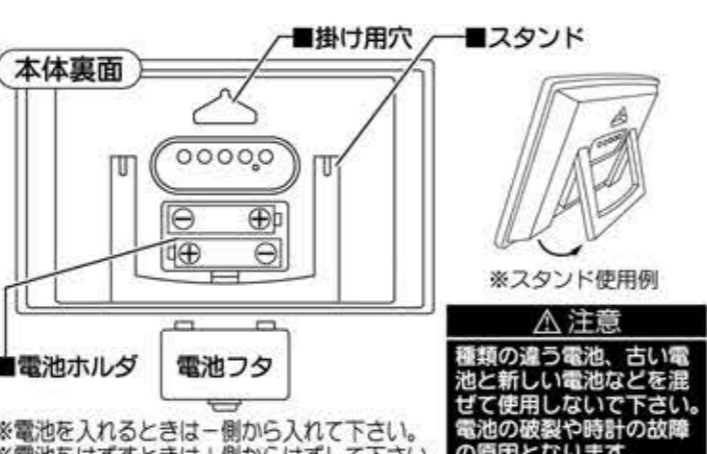
電波障害などにより、誤った信号を受信することがあります。表示が時刻がおかしい場合は、リセットボタンを押して、改めて受信をさせて、アラームなどを設定し直して下さい。

各部の名称



操作部拡大図

- 【モード/セットボタン】： 手動時刻設定・アラーム時刻設定・チャイム設定に使用します。
- 【スヌーズボタン】
- 【オン/オフボタン】： アラームのオン/オフに使用します。
- 【リセットボタン】： 表示と設定内容を初期化するボタンです。
- 【+ボタン】： 設定操作中に1回押すごとに項目を加算します。通常時刻表示のときに押すと、12/24時間制を切替えます。
- 【-/警報ボタン】： 設定操作中に1回押すごとに項目を減算します。警報ブザーのオン/オフに使用します。



アラーム(目覚まし)の使い方

アラーム時刻の設定

- ### 注意
- ※設定中の点滅は約15秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常時刻表示に戻ります。
- ①通常時刻表示のときにモード/セットボタンを押すとアラーム設定時刻が表示されます。
 - ②モード/セットボタンを3秒以上押し続けるとアラーム時刻設定モードに入ります。→[時]部分が点滅します。
 - ③+ボタン、-/警報ボタンを押して[時]を設定します。
 - ④[時]の設定が終了したら、モード/セットボタンを押します。→[分]部分が点滅します。
 - ⑤+ボタン、-/警報ボタンを押して[分]を設定します。
 - ⑥[分]の設定が終了したら、モード/セットボタンを押します。→アラーム設定時刻が表示されて、設定が完了します。
- ※[秒単位]の設定はできません。
※[午前]と[午後]を間違えないようご注意ください。

アラーム機能の使い方

- アラームを鳴らす
オン/オフボタンを押してアラームマークを点灯させる。
※アラームは鳴り始めから約2分後に自動的に止まります。
- アラームを止める
スヌーズボタン以外のボタンを押す。
→アラームが鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
- ※アラームマークは点灯したままです。アラーム停止後、オン/オフボタンを押す。→アラームマークが消灯します。
- なにもしない。(オートストップ機能)
→アラームは鳴り出しから2分で自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームマークは点灯したままです。
- 止めてもまた鳴るスヌーズ機能
■アラームが鳴っている間に、スヌーズボタンを押すと、アラームが一瞬鳴り止まり、約5分後に再び鳴り出します。
※スヌーズ機能中は、zマークが点滅します。
※スヌーズ機能中に、スヌーズボタン以外のボタンを押すと、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※スヌーズ機能は、最大7回繰り返すことができます。
※アラームが再び鳴らないようにするには、オン/オフスイッチを押し、アラームマークを消灯させます。

時計の使い方(お使い始め)

自動設定 (電波受信による時刻・日付設定方法)

- ①単3形乾電池2個を電池ホルダのナールの表示に合わせてセットして下さい。液晶面が表示され、「ビ・ビ・ビ・ビ」と確認音が鳴り、電波の受信を開始します。
※絶縁紙がついている場合は、これをはずしてから電池を入れ直して下さい。
- ※受信中は受信マークが点滅します。
※受信には最長10分かかります。
- ②受信の結果を確認して下さい。
本取扱説明書の「受信の状態について」を参照して下さい。
- 受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻と日付を修正して表示します。
- 受信に失敗すると、受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。

電波受信ができなかった場合は・・・

- ①一昼夜そのままにして様子を見て下さい。
夜間は比較的電波受信の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。初期受信に失敗しても、定期的に自動で受信をしますので、しばらく様子を見て下さい。
- ②設置場所を変えて、強制受信をして下さい。
本取扱説明書の「電波時計について」を参照して、本体の向きや置き場所を変えて、強制受信をして下さい。
※強制受信は本取扱説明書の「電波受信機能」を参照して下さい。
- ③手動による時刻・日付設定をして下さい。
【手動設定】を参照して時刻・日付を手動で合わせて下さい。
※手動で時刻を合わせた場合も、定期的に自動受信を開始して、受信に成功すると、自動で時刻を修正します。

その他の機能

電波受信機能

- 強制受信
電波受信が終了(受信マークが点灯、または消灯)しているとき-/警報ボタンを3秒以上押すと、電波受信を開始します。
※電波受信中に-/警報ボタンを3秒以上押すと、電波受信を終了します。
- 自動受信
自動受信は1日に最多4回行われます。(2時00分、3時00分、4時00分、5時00分)
2時00分の受信に成功すると、次の日の2時00分まで受信はしません。2時00分の受信に失敗すると3時00分に、更に失敗すると4時00分、5時00分というように、受信に成功するまで4回受信を繰り返します。

受信の状態について (受信マークの表示例)

- 点滅中 ■受信中(電波を探している状態)です。
- 点灯 ■受信に成功して時刻/日付修正を終了しています。
※次の受信開始まで点灯し続けます。
- 消灯 ■受信に失敗して終了しています。
※次の受信開始(点滅)まで、表示されません。

エアサーチ機能について

温度と湿度の数値から、現在の環境状態を4種類の環境マークで表示します。
(熱中症注意 インフルエンザ注意 乾燥注意 快適)
※温度と湿度の数値によっては、環境マークが何も表示しない場合があります。
※環境マークの快適・インフルエンザ注意・熱中症注意・乾燥注意は、あくまで空調や体調管理の目安です。表示により発生の有無を断定するものではありません。公的機関から発表される「注意」「警報」などは一致しない場合があります。

警報ブザーについて

■警報ブザーを鳴らす
通常時刻表示のとき-/警報ボタンを押すと、警報ブザーマークが点灯します。
→「インフルエンザ注意」「熱中症注意」「乾燥注意」のいずれか一つでも点灯すると、「ピーー」と長めの警報音が鳴ります。
※「快適」が点灯した場合は、警報音は鳴りません。
※警報ブザーを鳴らさない場合は、-/警報ボタンを押して、警報ブザーマークを消灯して下さい。

六曜表示について

六曜とは暦注の一つで、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。
※本製品の六曜表示は、2010年～2050年まで表示します。2051年からは表示しません。
※2033年～2034年の間は、旧暦の法則では月名が決定出来ないため、本製品は代替えの基準を適用しています。このため、六曜の表示が他のカレンダーと異なる場合があります。
※六曜は慣習として使われていますが、公的機関が定めたものではありません。

W600-1310-rev